

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月7日

【四半期会計期間】 第15期第2四半期(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

【会社名】 株式会社エスクリ

【英訳名】 E S C R I T I N C .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼最高執行責任者 渋谷 守浩

【本店の所在の場所】 東京都港区西新橋二丁目14番1号 興和西新橋ビルB棟

【電話番号】 03-3539-7654

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 吉瀬 格

【最寄りの連絡場所】 東京都港区西新橋二丁目14番1号 興和西新橋ビルB棟

【電話番号】 03-3539-7654

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 吉瀬 格

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高	(千円)	13,049,007	14,344,689	29,477,263
経常利益又は経常損失()	(千円)	451,115	461,542	1,224,232
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	(千円)	409,623	275,436	713,204
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	410,566	276,889	713,567
純資産額	(千円)	4,898,686	6,145,782	5,945,668
総資産額	(千円)	26,263,354	25,761,950	26,560,173
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	34.42	23.08	59.89
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		23.03	59.73
自己資本比率	(%)	18.6	23.8	22.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,109,894	635,114	3,253,612
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	385,527	836,495	1,147,669
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,393,758	611,671	361,901
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高	(千円)	6,067,533	4,885,176	5,695,588

回次		第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	15.86	22.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間において、当社が100%出資する連結子会社である、株式会社ウェブスマイルの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結会計期間において、ESCRIT HAWAII INC.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループは、プライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴施設を運営する当社のほか、地方展開する当社100%子会社である株式会社エスクリマネジメントパートナーズ(以下、エスクリマネジメントパートナーズ)、ならびにグループ内における挙式・披露宴施設等の内装工事を請け負う株式会社渋谷(以下、渋谷)を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、プライダル関連事業において業績が堅調に推移したほか、業務効率化に伴う生産性の向上により販売費及び一般管理費が減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14,344百万円(前年同四半期比9.9%増)、営業利益517百万円(前年同四半期は364百万円の損失)、経常利益461百万円(前年同四半期は451百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益275百万円(前年同四半期は409百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(プライダル関連事業)

前連結会計年度に東京都港区六本木に開業した直営の挙式・披露宴施設1施設の業績貢献に加えて、既存施設の業績が堅調に推移したほか、各種経費削減施策の効果もあり、プライダル関連事業の売上高は12,827百万円(前年同四半期比11.1%増)、セグメント利益は1,242百万円(同326.4%増)となりました。

(建築不動産関連事業)

大型工事の竣工などにより、売上高は大きく伸長致しました。売上高、利益ともに概ね計画通りに推移し、建築不動産関連事業の売上高は1,517百万円(前年同四半期比23.4%増)、セグメント利益は31百万円(同4.9%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ810百万円減少し、4,885百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は635百万円(前年同四半期は1,109百万円の収入)となりました。その主な内訳は税金等調整前四半期純利益455百万円、減価償却費774百万円、法人税等の支払額342百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は836百万円(前年同四半期は385百万円の支出)となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出791百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は611百万円（前年同四半期は1,393百万円の収入）となりました。その主な内訳は長期借入れによる収入750百万円、長期借入金返済による支出1,529百万円があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 施行、受注及び販売の実績

施行実績

当第2四半期連結累計期間の挙式・披露宴施行件数の実績は、次のとおりであります。

区分	施行件数(組)	前年同四半期比(%)
ブライダル関連事業	3,894	109.8

受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注件数及び残高の状況は、次のとおりであります。

区分	受注件数(組)	前年同四半期比(%)	受注件数残高(組)	前年同四半期比(%)
ブライダル関連事業	4,918	100.7	5,092	106.1

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,648,000
計	45,648,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,944,500	11,944,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株と なっております。
計	11,944,500	11,944,500		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成29年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	9,000	11,944,500	1,780	596,420	1,780	554,420

(注) 新株予約権(ストックオプション)の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社ブックス	東京都中央区銀座5丁目6-12	3,050,000	25.53
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (ゴールドマン・サックス証券株式会社)	イギリス・ロンドン (東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー)	1,392,138	11.65
岩本 博	神奈川県川崎市中原区	1,021,000	8.54
吉岡 裕之	大阪府東大阪市	587,000	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	318,300	2.66
上田八木短資株式会社	大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目4-2	262,500	2.19
志野 文哉	千葉県四街道市	253,500	2.12
株式会社SHIBUTANIホールディングス	奈良県生駒市菜畑町2313-451	250,000	2.09
岩本 眞弓	神奈川県川崎市中原区	180,000	1.50
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW (株式会社みずほ銀行決済営業部)	イギリス・ロンドン (東京都港区港南2丁目15-1 品川 インターシティA棟)	153,944	1.28
計	-	7,468,382	62.53

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,941,800	119,418	
単元未満株式	普通株式 2,100		
発行済株式総数	11,944,500		
総株主の議決権		119,418	

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社エスクリ	東京都港区西新橋二丁目14番 1号 興和西新橋ビルB棟	600		600	0.01
計		600		600	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,940,316	5,110,015
受取手形及び売掛金	439,032	279,455
完成工事未収入金	128,421	160,440
販売用不動産	742,672	798,190
商品及び製品	69,944	61,950
原材料及び貯蔵品	91,717	93,731
未成工事支出金	344,367	411,641
その他	793,922	885,083
貸倒引当金	24,422	24,063
流動資産合計	8,525,973	7,776,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,223,828	10,601,153
その他	3,133,898	2,738,503
有形固定資産合計	13,357,726	13,339,656
無形固定資産		
その他	354,457	211,037
無形固定資産合計	354,457	211,037
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,373,435	3,446,292
その他	978,881	1,021,104
貸倒引当金	30,300	32,587
投資その他の資産合計	4,322,016	4,434,810
固定資産合計	18,034,200	17,985,504
資産合計	26,560,173	25,761,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,471,821	1,367,713
短期借入金		300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,973,891	2,821,814
未払金	1,454,116	892,346
前受金	1,424,974	1,992,387
未払法人税等	414,894	247,723
その他	2,073,030	1,778,196
流動負債合計	9,812,728	9,400,182
固定負債		
社債	510,000	480,000
長期借入金	7,512,876	6,795,904
資産除去債務	1,949,180	2,139,842
その他	829,718	800,240
固定負債合計	10,801,775	10,215,986
負債合計	20,614,504	19,616,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,639	596,420
資本剰余金	552,639	554,420
利益剰余金	4,789,285	4,985,375
自己株式	187	187
株主資本合計	5,936,377	6,136,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,125	3,082
為替換算調整勘定		504
その他の包括利益累計額合計	1,125	2,577
新株予約権	8,166	7,175
純資産合計	5,945,668	6,145,782
負債純資産合計	26,560,173	25,761,950

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,049,007	14,344,689
売上原価	5,613,670	6,133,274
売上総利益	7,435,337	8,211,415
販売費及び一般管理費	1 7,799,534	1 7,693,646
営業利益又は営業損失()	364,197	517,769
営業外収益		
解約返戻金	3,200	
受取保険金		15,190
その他	8,912	6,458
営業外収益合計	12,112	21,648
営業外費用		
支払利息	62,897	49,401
支払手数料	15,903	16,295
その他	20,230	12,178
営業外費用合計	99,030	77,875
経常利益又は経常損失()	451,115	461,542
特別利益		
新株予約権戻入益	3,613	445
特別利益合計	3,613	445
特別損失		
減損損失	2 87,751	
子会社株式売却損		6,492
その他	8,820	
特別損失合計	96,571	6,492
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	544,073	455,494
法人税、住民税及び事業税	25,624	186,069
法人税等調整額	160,074	6,011
法人税等合計	134,450	180,057
四半期純利益又は四半期純損失()	409,623	275,436
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	409,623	275,436

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	409,623	275,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	942	1,957
為替換算調整勘定		504
その他の包括利益合計	942	1,452
四半期包括利益	410,566	276,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,566	276,889

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	544,073	455,494
減価償却費	740,564	774,263
子会社株式売却損益(は益)		6,492
のれん償却額	36,236	30,275
減損損失	87,751	
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,197	5,631
解約返戻金	3,200	
新株予約権戻入益	3,613	445
受取利息及び受取配当金	1,766	890
受取保険金		15,190
支払利息	62,897	49,401
支払手数料	15,903	16,295
売上債権の増減額(は増加)	363,965	50
たな卸資産の増減額(は増加)	152,597	3,160
未成工事支出金等の増減額(は増加)	153,850	67,274
仕入債務の増減額(は減少)	495,541	57,466
前受金の増減額(は減少)	841,150	567,412
未成工事受入金の増減額(は減少)	126,519	188,402
未払金の増減額(は減少)	44,232	277,324
その他	205,921	399,348
小計	1,190,695	1,010,648
利息及び配当金の受取額	1,766	879
利息の支払額	63,403	49,603
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	19,165	342,000
保険金の受取額		15,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109,894	635,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	13,425	11,300
定期預金の払戻による収入	13,200	31,200
有形固定資産の取得による支出	354,058	791,299
資産除去債務の履行による支出		15,060
無形固定資産の取得による支出	19,561	28,278
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入		73,213
敷金及び保証金の差入による支出	5,536	97,547
敷金及び保証金の回収による収入	1,949	22,534
その他	8,095	19,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	385,527	836,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	330,000	300,000
長期借入れによる収入	2,400,000	750,000
長期借入金の返済による支出	1,829,639	1,529,049
社債の発行による収入	600,000	
社債の償還による支出	5,000	35,000
配当金の支払額	53,378	71,564
その他	48,223	26,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,393,758	611,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,532	894
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,110,592	812,158
現金及び現金同等物の期首残高	3,956,940	5,695,588
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		1,747

現金及び現金同等物の四半期末残高

1	6,067,533	1	4,885,176
---	-----------	---	-----------

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社が100%出資する連結子会社である、株式会社ウェブスマイルの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結会計期間において、ESCRIT HAWAII INC.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社グループは、運転資金等の柔軟な調達を行うため、金融機関と当座貸越契約及びコミットメントライン契約等を締結しておりますが、当該契約には一定の財務制限条項が付されております。

これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
当座貸越極度額及び コミットメントライン契約等の総額	1,750,000千円	1,100,000千円
借入実行残高	300,000千円	300,000千円
差引額	1,450,000千円	800,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
地代家賃	1,737,930千円	1,790,571千円
給料手当	1,512,793千円	1,384,985千円
広告宣伝費	1,639,858千円	1,622,719千円

2 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位：千円)

場 所	用 途	種 類	金 額
ラグナスイートホテル& ウェディング新横浜 (横浜市港北区)	除却予定資産	建物・建物付属設備他	20,699
プリマカーラ福岡店 (福岡市中央区)	除却予定資産	建物・建物付属設備他	27,892
ラグナヴェール PREMIER (大阪市北区)	除却予定資産	建物・建物付属設備他	30,406
その他	除却予定資産	建物・建物付属設備他	8,753

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として事業拠点毎に資産のグルーピングを行っております。処分予定資産、撤退の意思決定を行った資産グループ及び営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は次のとおりであります。

建物及び構築物	78,403千円
有形固定資産その他	8,029千円
無形固定資産その他	1,318千円
合計	87,751千円

資産グループの回収可能価額については使用価値により算定しており、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、回収可能価額をゼロとして評価しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金	6,334,355千円	5,110,015千円
預入期間が3か月を超える定期預金	266,822千円	224,838千円
現金及び現金同等物	6,067,533千円	4,885,176千円

- 2 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

株式の売却により、株式会社ウェブスマイルが連結子会社でなくなったことに伴う売却時の資産及び負債の内訳は次のとおりであります。

流動資産	126,545千円
固定資産	9,530
資産合計	136,076
流動負債	57,583
固定負債	72,000
負債合計	129,583

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	53,395	4.50	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月8日 取締役会	普通株式	71,472	6.00	平成28年9月30日	平成28年12月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月12日 取締役会	普通株式	71,609	6.00	平成29年3月31日	平成29年6月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月7日 取締役会	普通株式	71,663	6.00	平成29年9月30日	平成29年12月11日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	プライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,540,582	1,229,466	12,770,048	278,959	13,049,007		13,049,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	167,425	167,610	18,934	186,545	186,545	
計	11,540,767	1,396,891	12,937,659	297,894	13,235,553	186,545	13,049,007
セグメント利益	291,296	33,237	324,534	31,755	292,778	656,975	364,197

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 656,975千円には、セグメント間の未実現利益の調整額8,098千円、のれん償却額 35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 629,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、プライダル関連セグメントにおいて87,751千円の減損損失を計上しました。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	プライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,827,001	1,517,687	14,344,689		14,344,689		14,344,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高		277,162	277,162		277,162	277,162	
計	12,827,001	1,794,849	14,621,851		14,621,851	277,162	14,344,689
セグメント利益	1,242,110	31,607	1,273,718		1,273,718	755,949	517,769

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおりましたが、株式会社ウェブスマイルの全株式を売却したことにより、該当事項はありません。

2. セグメント利益の調整額 755,949千円には、セグメント間の未実現利益の調整額 31,403千円、のれん償却額 29,312千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 695,233千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	34円42銭	23円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円)	409,623	275,436
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期 純損失金額()(千円)	409,623	275,436
普通株式の期中平均株式数(株)	11,902,469	11,935,832
(2) 潜在株式調整後1株当たり純利益金額		23円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		24,134
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第15期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）中間配当について、平成29年11月7日開催の取締役会において、平成29年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	71,663千円
1株当たりの金額	6円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年12月11日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月6日

株式会社エスクリ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 篠原孝広印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高橋篤史印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスクリの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスクリ及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。